

# 未来に向かって 一人ひとりが輝く北っ子！

～考え動き 人とつながり 未来に向かう子～

毎朝、玄関に立って子ども達が登校してくるのを待っています。「おはようございます」という子ども達の元気な声で私も元気をもらっています。最近は暑くて暑くて、特に1年生は、登校すると、下駄箱の踏み板に座り込み、まずはお茶をぐくぐく。1日の大仕事をやり終えたような表情です。

1学期が終了しました。今年度は昨年度よりも1週間長い、44日間の夏休みです。宿題が気になるところですが、夏休みにしかできない体験や、時にはぼーっとする時間も持ちながら、9月2日、また元気な「おはようござます」で2学期が始まりますようよろしくお祈いします。

## ことばの広がり① 国語辞典

7月2日、ある出版社の方に来ていただいて、辞書引きの授業をしていただきました。昨年度は、3年生のみ、今年度は3、4年生での実施です。(4年生は昨年に引き続き2度目の授業です。)

国語辞典にはどんなイメージをお持ちですか？

重い、文字がいっぱい、ひくのが面倒くさい・・・。

私自身中学校勤務時は「意味調べ」の宿題を出し、生徒達はため息をつく・・・というのを繰り返してきました。

それが、今や、小学生対象の辞書はすっかりイメチェンです。カラー印刷になり、挿絵や写真がふんだんに使用され、まるで百科事典のようになっています。

昨年度から、3年生の国語の学習内容に辞書引きが出てくるのを契機に、保護者様にお世話になって、辞書を個人持ちとし、毎日の生活の中で辞書が引ける環境を整えています。

子ども達は、自分の知っている言葉、新たに調べた言葉に付せんを貼っていきます。付せんが増えていくことが励みになって、皆、楽しみながら辞書を引いています。

今さら、なぜ紙の辞書なのか・・・。電子辞書の方が便利では？と思われるかもしれませんが、辞書で自分の知りたい言葉を調べているうちに、ちょっとその途中で目に入った言葉が気になった、というような寄り道、これをブラウジングと言うそうですが、この寄り道が紙の辞書のすばらしさだとか。例えば、「それ、やばいやろ」これだけではどういうことなのかわかりません。人との争いは言葉でしか解決できないと思います。子ども達が言葉を豊かにすることで、自分の思いをより豊かに表現できるようになり、そしてそれが、子ども達のより豊かな人生につながっていくことを願っています。



7月2日 3年生辞書引きスタート！



7月12日 休み時間も貼っています！



4年生の辞書  
1年間で随分増えました

## ことばの広がり② 図書室を居心地よく

夏季休業期間を利用して、図書室の整備を計画しています。古くなった図書を整理してソファを置き、図書室という空間を、子ども達にとって本を読むのにはもちろん、教室とはまた別のほっとできるような場所にしていきたいと考えています。図書ボランティアに応募していただいた皆様にはお世話になります。よろしくお祈いします。